

三岳小だより

【スローガン】 やさしく かしこく
たくましく みんなで助け合う
【合い言葉】 本気でがんばる

令和2年度 三岳小学校
第11号 3月22日
文責 館山 恭一

今年度修了 ～1年間の頑張り～

今年度はコロナ禍の中で限られた教育活動を強いられました。その中で、できることは縮小してもやっていこうという気持ちで、子どもたちの指導に当たってきました。1年間を通して、子どもたちも頑張り、多くの成長が見られました。通知表にもその様子は書かれていますが、私から見ても成長の跡が見られました。下にそのことを書き出してみました。1年間全体的には落ち着いた学校生活を送ることができましたが、それは、子どもたちが、三岳小を良くしようという気持ちをもっていてくれたからだと思えます。家庭でも励まし・応援・支えがあったからだと思えます。

【本年度 学習面のよかったところ】

- ・はじめ、終わりのあいさつ
- ・チャイム着席でスタート
- ・限られた中でも運動会、修学旅行、集団宿泊、学習発表会などできた。
- ・地域の方と一緒に学習ができた。
- ・発表、話し合いなど先生と一緒にがんばっている。
- ・学習のまとめをがんばった。

【本年度 生活面でよかったこと】

- ・登校班でまとまって登下校できた。
- ・朝のボランティアを続けた。
- ・委員会活動が定着し活動が充実。
- ・無言そうじで頑張った。
- ・コロナ禍の中、無言給食ができた。
- ・学年ごとの交流がよくできた。
- ・周りの人のことを考える人が増えた。



朝のボランティア活動

6年生卒業 ～卒業前に～

6年生には卒業を前に、山鹿中学校からの事前説明会もあり、中学校への準備が少しずつできています。そういう中で、三岳小をきれいにしようとがんばってくれました。日頃掃除ができないところで窓の溝や体育館の隅々まで掃除をしてくれました。また、12日にはお別れの遠足もあり、雨で校内での遠足となりましたが、5年生がレクリエーションを企画してくれて楽しい時間を過ごしました。その後に1年生からのメダルのプレゼントもあり、温かい気持ちになりました。また、昼休みを活用して6年生と他学年との交流もあり、一緒に楽しむとともに別れを惜しみつつ、遊びができました。



6年お世話になった所の掃除



1年生からの感謝のメダル



6年生と低学年の交流

学校安心メールはテクノミックスさんのご協力できています。

本校から保護者への連絡として、学校安心メールを活用していますが、これは、「株式会社テクノミックス様（上益城郡益城町田原801-28）」のご厚意により成り立っているものです。このご厚意によって、学校やPTAからの費用の負担なくメールを活用させてもらっています。緊急連絡として大変助かっています。書面にてお礼をさせていただきます。いつもお世話になっています。ありがとうございます。

タブレットが児童一人1台入りしました。

2月後半に、山鹿市教育委員会から市内全小中学校の担任及び児童一人に1台のタブレットが配付され、その後、全学年で本格的な活用を始めました。使用法の説明はICT支援員の渕野先生が行い、使用前の心構え、諸注意をじっくり指導してもらいました。子どもたちはタブレット使用に大変興味を



タブレットを操作する児童

示し、意欲的に画面に触れ、変化に対応できていました。6年理科では、プログラミングがありますので、MESH（メッシュ）という、センサーの役目をする器具とタブレットを使って、日常の自動化されている命令を理解することに役立てました。その他の学級でも、自分の答えや考えを画面に書き、それを先生のタブレットに送り、それをみんなで見合う学習に役立てていました。紙が不要になり、一度に多くの答えをテレビ画面で見ることができるようになりました。また、リモート（ZOOM）の説明もあり、これで学校と家庭で離れても学習が可能になりました。仮に4、5月のような休校になっても対応ができるようになりました。



リモート（ZOOM）の説明

今年度2回目学校支援協議会

3月4日に、今年度第2回学校支援協議会を授業参観、質疑・意見交換という内容で実施しました。参加者は、学校評議員2名、学校関係者評価委員4名、学校支援協議会委員4名、校長、教頭でした。授業参観では、外国語、タブレット活用の授業がありました。地域や保護者の皆様には、日頃から子どもたちの教育活動に大変お世話になっています。主な質疑意見等について左に書き出します。

- タブレット活用の授業を見て、今後授業が変わっていくだろう。
- 交通教室を春の早い時期に実施してほしい。集団での横断の指導時は自分（交通指導隊）を遠慮なく呼んでほしい。
- 自分たちが習っていた英語は読むこと、書くことが中心であったが、今日の授業は聞くこと、話すことが中心であった。これからの子どもたちも話すことが上手くなるだろう。
- 全体的に明るくて、みんなよく発言している。
- 学校編入が進むにつれて、数年後は子どもたちの姿が地域から消えてしまう。そうならないように、三岳校区文化祭、ふるさと合宿、田植え、稲刈り等 地域と子どもたちで交流する時間を多く持つことが必要。
- 地域の遊び場が少ない。子どもたちがあまり外で遊んでいないようだ。
- SNS、スマホ等の使用の仕方は継続して家庭でも配慮が必要である。



支援協議会の授業参観

桑机先生退院 卒業生に会ってお祝いの言葉



6年生と桑机先生

先生が、3月22日（月）午前中、卒業する6年生に会いに来られました。これまで2つの病院で治療、リハビリを続けられていましたが、先週退院され、子どもたちに会って卒業のお祝いを言いたいという気持ちをもたれての来校でした。まだ、以前のような動きではありませんでしたが、6年生に病気になってすまない気持ちとお祝いの言葉を話されました。なかには、うれしくて気持ちが高ぶり涙を流す子どもをいました。その後、職員室で職員集合の中で話されました。短い時間でしたが、だいぶ回復された桑机先生と話すこともでき、子どもたちも職員も大変うれしい気持ちになりました。

10月から病氣治療のために長期入院をされていた、前6年生担任の桑机昌文

卓也くんも元気です

2月12日から入院して、2度の大きな手術を乗り越えた、3年生の石橋卓也くんが、3月22日学校に退院後の顔を見せに来てくれました。長時間の手術でしたので、当日はかなり心配しましたが、今は順調に回復でき元気になっています。すばらしい生命力、気力です。本当に、手術、病院生活に負けずに頑張りました。春休みはしっかりと体力回復に励み、4月始業式から、また一緒に勉強しましょう。



卓也くんと先生方

今年度も、保護者・地域の皆様にはご理解・ご協力を賜り、大変お世話になりました。

コロナ禍、病氣、けが等思わぬ事が起こった1年でした。職員数が足りないときもあり、子どもたちへの指導も十分にできないときもありましたが、皆様のご理解、ご協力もあり、制限された環境の中で子どもたちの指導に当たることができました。保護者・地域の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。引き続き次年度もよろしくお祈りいたします。